



『がん』ってなに



私たちの体を作っている細胞(およそ60兆)は、常に様々な傷を受けています。傷を受けると、細胞は速やかに修復しようとします。ところが、細胞に何らかの遺伝子の異常が起こり、細胞が増殖を繰り返し、止まらなくなってしまうことがあります。そうして何年もかけてできた異常な細胞のかたまりのうち、生命を脅かすものが『がん』です。

『がん』と診断された患者数

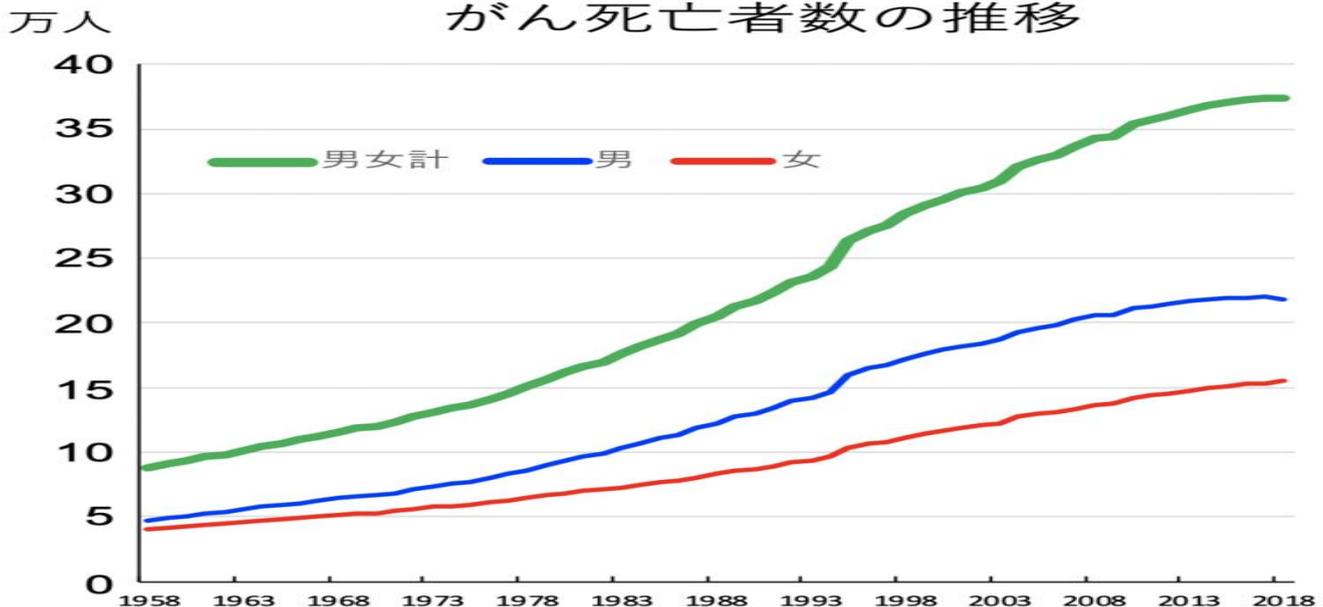


2017年に『がん』と診断された患者数(部位別)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	前立腺	胃	大腸	肺	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮
計	大腸	胃	肺	乳房	前立腺

『がん』で亡くなった患者数

がん死亡者数の推移



著者作成。元データ：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

5大がんとは？

5大がんとは

胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・肝臓がん
のことを言います。



ここから5大がんについて簡単に説明していきます！

<胃がん>

胃壁の内側にある粘膜の細胞ががん化しできる悪性腫瘍です。胃がん自体には、特有の症状はなく、進行しても症状がないこともあります。主な症状としては、みぞおちの痛みや不快感、食欲の低下、胸やけなどの症状がみられます。

☆胃がんになりやすいといわれている人☆

「喫煙」「塩分の摂りすぎ」「ピロリ菌への感染」「野菜・果物不足」が関係して発生するリスクが高くなります。

<大腸がん>

大腸（結腸・直腸・肛門）に発生するがんです。早期がんは無症状であることが多く、がん検診で見つかることが多いです。進行がんの症状は、がんによる出血や血便、便の通りが悪くなることによる便秘や腹痛などです。がんの部位によっては、腹部の不快感、便秘、血便などの症状が現れることがあります。

☆大腸がんになりやすいといわれている人☆

「遺伝的要因」「肥満」「飲酒」などが関係して発生するリスクが高くなります。



<乳がん>

乳腺の組織にできるがんです。乳房に痛みがあり乳がんを心配される方が多いですが、乳房で痛みを起こすのは、乳腺症や乳腺症、神経の痛みなどの良性の場合が多いです。代表的な症状はしこりで、その他に乳首からの出血、乳がんが進行してくると皮膚のただれ、乳房の左右差や変形、えくぼのような凹みがでることもあります。男性にも発生することがあります。

☆乳がんになりやすいといわれている人☆

「閉経後のホルモンによる影響」「喫煙」「遺伝的要因」が関係して発生するリスクが高くなります。

<肺がん>

気管支や肺胞の細胞が何らかの原因でがん化したものです。肺がんの主な症状は咳や痰、発熱、動悸、胸の痛み（胸痛）、息苦しさ（呼吸困難）などです。「この症状があれば肺がん」といえるような、特徴的な症状はありません。肺がんのできた場所や大きさによって、ほとんど症状が出ないこともあります。

☆肺がんになりやすいといわれている人☆

「喫煙」が関係しています。喫煙する人としない人を比較すると、がんの発生率は男性で4.5倍、女性で4.2倍も高くなっています。

<肝臓がん>

肝臓の細胞に由来する悪性腫瘍で、ほとんどの肝細胞がんはウイルス性（B、C型肝炎）の慢性肝炎や肝硬変などの慢性疾患を背景にして発生しています。がんが初期の場合は特別な症状を引き起こすことはありませんが、がんが進行してくると肝機能の低下を引き起こしそれに伴う症状がでてきます。また、肝細胞がんの元である肝硬変が進行して肝機能の障害が進み、症状（病気の進行による圧迫感、腹部膨満感、疼痛など）がでてくることもあります。

☆肝臓がんになりやすいといわれている人☆

B型、C型肝炎ウイルスを持つ方は特に注意が必要で、定期的に検査を行うことが重要です。この慢性の肝障害をきたす原因として、（肝炎ウイルス以外では）アルコール多飲、脂肪肝などがあります。